

海軍公報

第六百五十四號

海軍大臣官房

大正三年十月十二日(月)



官房第一八五八號ノ五

大正三年ニ限リ恒例觀艦式舉行ヲ取止メラル

大正三年十月十二日

海軍大臣 八代 六郎

○令達

○大正三年十月十日

任海軍書記
給十級俸

森 利八

海軍書記

森 利八

横須賀海軍經理部附ヲ命ス

海軍書記 吉岡 勝吉

依願免本官

井上 宇之助

(各通)吳海軍工廠附海軍技手

賀屋 爲美

兼造船監督助手ヲ命ス

海軍造兵廠附海軍技手 齋鄉 信治

兼海軍艦型試驗所附ヲ命ス

海軍書記 森 利八

橫須賀海軍工廠附海軍技手 岩堀 勇治
兼造兵監督助手ヲ命ス(以上計海軍省)

1117

(秘 外 部)

海軍公報

第六百五十四號

大正三年十月十二日(月)

海軍大臣官房

命達

富房第三〇五二號
大正三年十月十二日

海軍大臣 八代 六郎

各鎮守府司令長官殿

徵購船舶用需品取扱整理人件

海軍徵備船舶ノ石炭及ヒ消耗品ハ左ノ通取扱フヘシ
一、現品供給シタル艦營需品石炭及消耗品ハ消耗量

一、現品供給シタル艦營需品石炭及消耗品ハ消耗地

二、備上ノ際ニ於ケル船主所有ノ殘炭ハ相當代價ヲ

右訓令ス
以テ買上クヘキト角側ノ隣居有ナル官有ノ木船
用燃料炭ヲ以テ差引返却スルコトヲ得

○艦船所在
指定印ハハ
ヲ要セスノ

▲印ハハホス

○十月十二日午前十時調
〔横須賀〕→相模、蒲州、武藏、津輕、壹岐、薩摩、

大正三年十月十二日

九三

吳	生駒、大和、宗谷、富士、扶桑、淀、千代田、韓崎、巨潛二三、潛一〇、潛一一、潛一二、巨春風、時雨、初春、初雪、長月、卯月、菊月、巨水無月、椅子山丸、神通丸、巨水五九、水五八、潛一、潛二、潛六、潛七
江	島
田	阿蘇
佐	波
門	巨潛四、潛三、潛五、硯海丸、歷山丸
神	戶
鶴	龍田、棟名
見	嚴島
墳	夕風、追風
鶴	疾風
見	三笠、鹿島、吾妻▲、巨千鳥▲、隼、巨水七五▲

曰外霧	神奈川九	曰水七	水六八	水七
水六七	鴻鵠			
〔大				
〔山	栗橋九			
濱	朝日、橋立、山彦、駒橋、潛八、潛九			
湯	白鷺雉			
口	口臚、喫、水二九、口水六六			

1118

〔教賀〕 水七三、水七二

〔佐世保〕 ▶駁島、笠置、▶磐手、▶音羽、▶彌生、
有明、吹雪、霞、▶如月、初霜、神風、響、▶白露、
夕立、三日月、夕暮、水六一、天拜山丸、

猿橋丸、宮島丸、鹿兒島丸、武洋丸、三池丸、梅丸、
さかき丸、福州丸、雲雀、鷦、▶水三三、水六〇

寺島水道

金剛

長崎

馬公

春日、對馬、▶不知火、薄雲

鑑

山

鷺

上海

阴田、伏見、鳥羽

第一地點

宇治、嵯峨、皋月丸、卷雲丸、琉球丸、

第六地點方面

沖島、▶潮、子日、朝風、若葉、

利根、▶野分、白雪、松風、▶浦波、朝霧、磯波、

綾波、▶朝潮、白雲、陽炎、村雨、文月丸、漣丸、

霞丸、敷波丸、第二長門丸、第五長門丸、

第八長門丸、第三西宗丸、

第七地點

周防、丹後、明石、高千穂、最上、石見、

武州丸、朝鮮丸、熊野丸、三河丸、白銀丸、八幡丸、

淀橋丸、辨天丸、

E 地點

千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、若宮丸、

雁、鴎、蒼鷹、燕

出雲(八月二十二日桑港發)
伊吹(八月二十四日吳發)
筑摩(八月二十六日佐世保發)

▶鞍馬、銚波、淺間、▶山風(九月十四日橫須賀發)
海風、遠江丸、南海丸
香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

▶薩摩、平戶、幸壽丸(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

擇捉丸(六日吳發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

八雲(八日佐世保發)

口攝津、河內、安藝(八日佐世保發松島)

新高(八日長崎發揚子江口)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

比叡(九日佐世保發寺島水道)

須磨(九日馬公發)

汐首丸(十日古仁屋發佐世保)

旭丸(十日佐世保發馬公)

豊橋丸(十日佐世保發永興)

劍山丸(十日佐世保發第七地點)

高崎丸(十一日吳發橫須賀)

臣橋、櫻(十一日佐世保發寺島水道)

常磐(十一日佐世保發上海)

○ 雜 款

○練習艦阿蘇、宗谷瀬戸内海巡航豫定表

地名	着	發
吳	十月二十日	十月二十日
大三島	同二十二日	同二十二日
赤穂	同二十四日	同二十四日
大阪	同二十六日	同二十六日
高松	同二十七日	同二十七日
今治	同二十九日	同二十九日
高瀬	同三十日	同三十日
阪	同三十一日	同三十一日
松	十一月一日	十一月二日
津	十一月二日	十一月二日
治	十一月二日	十一月二日
江田島	十一月二日	十一月二日

○司令艇變更
第十五艇隊司令艇ヲ本月七日驚ヨリ鶴ニ變更セル旨報
告アリ

○郵便物送附先
舞鶴鎮守府艦隊司令部並ニ軍艦三笠宛郵便物ハ左記ニ
依リ發送相成度旨通知アリ
十月十四日迄ニ到着見込ノモノハ 島根縣美保關
同 十八日迄ニ到着見込ノモノハ 福井縣敦賀
其後ハ 吳
舞鶴軍港

○郵便物送附先
舞鶴鎮守府艦隊司令部並ニ軍艦三笠宛郵便物ハ左記ニ
依リ發送相成度旨通知アリ
十月十九日迄ニ到着見込ノモノハ 吳
同 二十六日迄ニ到着見込ノモノハ 大阪留置
其以後ノモノハ 吳

海軍公報 第六百五十五號

大正三年十月十三日(火)
海軍大臣官房

○艦船所在 ▲印ハハホノ
指定ヲ要セス

○十月十三日午前十時調

【横須賀】 ▷相模▲、滿州、武藏、津輕▲、壹岐▲、叢雲、

【夕霧】 神奈川丸、呑水七一、呑水六八、呑水七〇、

【水六七】 鴻鵠

【栗橋丸】

【朝日】 橋立、山彦

【河濱】

【千早】

【生駒】 大和、宗谷、富士、扶桑、淀、千代田、

【韓崎】 岩潛二三、潛一〇、潛一一、潛一二、呑春風、

【長崎】 初春、初雪、長月、卯月、菊月、呑水無月、

【時雨】 初春、初雪、長月、卯月、菊月、呑水無月、

【椅子子】 山丸、神通丸、呑水五九、呑水五八、潛一、潛二、

【潜六】 潜七

【江島】 阿蘇

【玖波】 岩潛四、潛三、潛五、硯海丸、巖山丸、

【神呑】 龍田、樓名

第六百五十五號

海軍大臣官房

門司嚴島

佐伯夕風、追風

佐見鶴見塘

舞鶴

佐土鶴見

佐敦世鶴見

佐保敷島

佐長有明

佐馬夕立

佐島水道

佐馬金剛

佐島霧島

佐馬公

佐島春日

佐島對馬

佐島不知火

佐島薄雲

佐島鹿兒島丸

佐島福州丸

佐島雲雀

佐島鶴見

佐島水三三

佐島水六〇

1122

►利根、日野分、白雪、松風、日浦波、朝霧、磯波、
綾波、日朝潮、白雲、陽炎、村雨、文月丸、漣丸、
霞丸、敷波丸、第二長門丸、第五長門丸、
第八長門丸、第三西宗丸

【第七地點】日周防、丹後、明石、高千穂、最上、石見、

朝鮮丸、熊野丸、三河丸、白銀丸、八幡丸、淀橋丸、

辨天丸、

千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、若宮丸、

日雁、鴿、蒼鷹、燕

【航海中】

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

►鞍馬、筑波、淺間、日山風(九月十四日橫須賀發)

香取(九月十九日横須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

►薩摩、平戶、幸壽丸(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

擇捉丸(六日吳發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

八雲(八日佐世保發)

口據津、河内、安藝(八日佐世保發松島へ)

新高(八日長崎發揚子江口へ)
肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)
比叡(九日佐世保發寺島水道へ)
須磨(九日馬公發)
旭丸(十日佐世保發馬公へ)
劍山丸(十日佐世保發第七地點へ)
高崎丸(十一日吳發橫須賀へ)
日橘、櫻(十一日佐世保發寺島水道へ)
常磐(十一日佐世保發上海沖へ)
武州丸(十二日第七地點發佐世保へ)
天邦山丸(十二日佐世保發)
駒橋、潛八、潛九(十三日浦賀發館山へ)

○ 雜款

○郵便物送付先
本月十六日以後第二艇隊司令部、鴻、鷗、雉、白鷹宛郵
便物ハ神奈川縣三浦郡田浦町海軍水雷學校氣付ニテ發
送相成度旨通知アリタリ

軍艦千代田宛郵便物ハ馬公要港部氣付ニテ發送相成度

旨通知アリタリ
○通信
喜屋武特設望樓無線電信機故障ノ爲約二週間通信不能
ノ旨報告アリタリ

(終)

海軍公報

第六百五十六號(第6百5)
(十五號缺)

海軍大臣官房

大正三年十月十四日(水)

○令達

官房第三〇六六號

第九艇隊ノ經費ハ第二艦隊司令長官ノ指揮ヲ承クル間
佐世保海軍經理部ノ所掌トシ軍艦利根主計長之カ會計
給與ヲ掌理スヘシ

大正三年十月十四日

海軍大臣 八代 六郎

官房第三〇六八號
救難船淀橋丸ノ會計給與ハ當分ノ間工作船關東丸主計
長ヲシテ之ヲ掌理セシム

大正三年十月十四日

海軍大臣 八代 六郎

(各通)

海軍大尉	河野 三吉
同 海軍中尉	井上 二三雄
馬越 難波	暉 雄
喜七	

○改姓
海軍大尉穴澤房吉ハ福島縣平民横倉家へ復籍ノ旨十月
八日届出タリ

海軍中尉 山本 順平
海軍機關大尉 多田 永昌

○雜款

海軍公報第六百五十六號

大正三年十月十四日

七七五

(秘外部)

海軍公報

第六百五十六號

海軍大臣官房

大正三年十月十四日(水)

◎令達

官房第三〇六七號
救難船搭載ノ造船材料物品並工業用機械ハ明治三十九年三月官房第一一八五號及本年九月官房第二五八〇號水雷母艦及工作船ヘ造船材料物品並機械供給手續ニ依リ取扱フ儀ト心得ヘシ

大正三年十月十四日

海軍大臣 八代六郎

▲印ハハホノ
指定ヲ要セス

○艦船所在

○十月十四日前十時調

【横須賀】 ▷相模▲、満州、武藏、津輕▲、壹岐▲、叢雲、
夕霧、山彦、神奈川丸、高崎丸、
水七〇、水六七、鴻鵠、
栗橋丸、
白鷹、雉

【小笠原島】 遠江丸
【大湊】 千早、
【函館】 潜一、
【吳】 生駒、大和、宗谷、富士、扶桑、淀、千代田、
菊月、
【江田島】 阿蘇
【秋波】 潜四、
【神戸】 潜三、
【門司】 龍田、櫻名
【佐伯】 阿蘇
【佐見崎】 潜五、
【鶴見崎】 潜六、
【舞鶴】 虎島、吾妻▲、千鳥▲、隼、
【土崎】 水七一、
【武洋丸】 水七二、
【敷賀】 水七三、
【佐世保】 漱島▲、笠置、新高、
【浦生】 有明、吹雪、
【朝日】 如月、初霜、
【横河】 初風、
【船形】 猛鶴、
【山形】 鳴鶴、
【館山】 潜八、
【横濱】 潜九、
【河津】 潜九、
【朝日】 桥立、
【横濱】 桥立、

海軍公報第六百五十六號 大正三年十月十四日

九九

宮島丸、鹿兒島丸、汐首丸、三池丸、梅丸、
さがき丸、福州丸、雲雀、鶴、呂水三三、水六〇

日進(九月二十三日馬公發)
薩摩、平戸、幸琴丸(一日佐世保發)
矢矧(二日佐世保發)

長崎

馬公

對馬、須磨、巨不知火、薄雲

霧島、口鶴

山

鷺

山

火

薄雲

釜

公

對馬、須磨、巨不知火、薄雲

霧島、口鶴

山

火

薄雲

○郵便物送付先

軍艦滿州十月十四日出港同二十二日歸港ノ豫定ニ付同
艦宛郵便物ハ横須賀留置トシテ發送相成度旨通知アリ
タリ
其以後ハ
馬公ヘ

○ 雜款

豊橋丸(十四日永興發舞鶴)
韓崎、潛一〇、潛一一、潛一二(十四日吳發廣島灣)

○郵便物送付先變更
軍艦千代田出港延期ニ付昨十三日公報ニ掲載シタル同
艦宛郵便物發送ニ關スル記事ハ取消シ相成度旨通知ア
リタリ

海軍公報

第六百五十七號

大正三年十月十五日(木)

海軍大臣官房

○通牒

經豫第四五八號

大正三年十月十五日

海軍省經理局長 志佐勝

委任仕拂命令官殿
現金前渡官吏殿

軍用手票ヲ通貨ト交換スヘキ圓銀ノ時價ノ件ニ付別紙
ノ通り大藏大臣ヨリ通牒有之候右通知ス

(各通) 海軍少佐 小山田繁麿
同 高橋三吉

海軍大學校學生餘衡委員ヲ命ス(附:海軍省)

○辭令

(講話) 来ル二十二日午後一時半ヨリ約二時間ノ豫定ヲ以テ海
軍大學校講堂ニ於テ左記ノ講話アリ
東京帝國大學農科大學教授
海洋學ノ現況 理學博士 原十太

(別紙) 大藏大臣通牒(摘要)

臨時派遣部隊軍資金支辨順序第十五條ニ於ケル軍用手
票ヲ通貨ト交換スヘキ圓銀ノ時價ハ關東州及滿州ニ於
ケル銀ノ公定相場ヲ以テ交換ノ事ニ定メ金庫出納役ヘ
相達候ニ付此段及通牒候也

海軍公報第六百五十七號 大正三年十月十五日

七七七

1127

(秘 外 部)

海軍公報

第六百五十七號

大正三年十月十五日(木)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハハホスノ
指定ヲ要セ

嚴島

○十月十五日午前十時調

日父風道風
疾風

水七四▲真鵠▲鵠▲

水七一、水六八、冰

【王嶠】
武清

館也

水七三、水七
卜敷島▲、筮置

大機
一
湊
口白麻知
口曉、署

有明、吹雪、霰、乍如
夕立、三日雨、夕霽

千早、水
生駒、大和

鹿兒島丸、武州丸

丁酉一三，乙春風時

【寺島水道】 日摺津、河内

水五八、潛一、潛二、
潛五、硯海九、騰山七

長崎　霧島、に鍋

江田島、阿蘇、宗谷、草崎、蔭一

卷之三

〔神月〕 龍田、櫻名

第六地點方面

大正三年十月十五日

若葉、利根、野分、白雪、松風、浦波、朝霧、
磯波、綾波、朝潮、白雲、陽炎、村雨、文月丸、

韋月丸、卷雲丸、琉球丸、健丸、霞丸、敷波丸、
第二長門丸、第五長門丸、第八長門丸、第三西宗丸

【第七地點】口周防、丹後、明石、高千穗、最上、石見、
朝鮮丸、熊野丸、三河丸、白銀丸、八幡丸、淀橋丸、

辨天丸、劍山丸、
【E 地點】十守城、見島、秋津洲、松江、關東丸、若宮丸、
巨鶴、鶴、蒼鷹、燕

【航海中】
出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

►鞍馬、筑波、淺間、
山風、海風、南海丸(九月十四日橫須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

►薩摩、平戶、幸壽丸(十一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

►彼南丸(七日橫須賀發)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

旭丸(十日佐世保發馬公)
常磐(十一日佐世保發上海沖)

天拜山丸(十二日佐世保發)
福州丸(十四日佐世保發第七地點)
►春日(十三日馬公發)

滿州(十四日橫須賀發)
豐橋丸(十四日永興發舞鶴)

遠江丸(十四日小笠原島發橫須賀)
橋立(十四日館山發橫須賀)

水三丸(十五日大湊發函館)
►

海軍公報

第六百五十八號

大正三年十月十六日(金)

海軍大臣官房

1130

○辭令
後備役ヲ命ヌ(請于海軍省)
海軍上等兵曹 戸村 實松

皋月丸、巻雲丸、琉球丸、漣丸、霞丸、敷波丸、

第二長門丸、第五長門丸、第八長門丸、第三西宗丸

第七地點

口周防、丹後、明石、高千穂、最上、石見、

朝鮮丸、熊野丸、三河丸、白銀丸、八幡丸、淀橋丸

劍山丸、福州丸

E地點

千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、若宮丸

口雁、鶴、蒼鷹、燕

【航海中】

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

鞍馬、筑波、淺間(九月十四日橫須賀發)

口山風、海風、南海丸(九月十四日橫須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

口薩摩、平戸、幸壽丸(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日横須賀發)

肥前、鳥取丸(八日横須賀發)

常磐(十一日佐世保發上海沖)

天拜山丸(十二日佐世保發)

豊橋丸(十四日永興發舞鶴)

滿州(十四日橫須賀發)

遠江丸(十四日小笠原島發橫須賀)

辨天丸(十五日第七地點發旅順)

三笠(十五日美保、關發舞鶴)

對馬(十五日馬公發)

口水三三、水六〇、水六一(十五日佐世保發第七地點)

○ 雜 款

○郵便物送付先
軍艦駒橋宛

十月十七日迄ニ到着見込ノモノハ

同二十二日迄ニ到着見込ノモノハ

横須賀郵便局氣付

其ノ以後ノモノハ

清水郵便局氣付

横須賀郵便局氣付

軍艦宗谷宛

十月二十日ヨリ二十六日迄ニ到着見込ノモノハ

大阪

同二十七日ヨリ二十八日迄ニ到着見込ノモノハ

其ノ以後ノモノハ

吳

高松

汽船「トロール」漁業許可證下付等ニ關スル件
本件ニ關シ左ノ通農商務省水產局長ヨリ通知アリタリ
右通牒ス
(許可證下付ノ分)

ニ追加許可セラレタリ(四十四年十二月軍第五一九號ノ二参照)
(許可効力消滅ノ分)
日東漁業株式會社ニ許可シタル第百二十五號(船名第
六長門丸)及第四十二號(船名第三長門丸)ハ沈没シタ
ルニ因リ許可ノ効力ヲ失ヒタリ(四十五年七月公報第一四八號ノ二
参照)

許可番號	第一百八十二號
住所	下關市大字入江町十六番地
名稱	關門水產株式會社
船名	第二關門丸
操業區域	禁止區域以外ノ海面
漁獲物陸揚港	下關港
許可期間	許可ノ日ヨリ十箇年
條件又ハ制限	第一百八十號ニ同シ
許可年月日	大正三年十月十三日
(許可證名義書換ノ分)	(別紙)
田中隆ニ許可シタル第六十五號(船名第一富丸)、第六十七號(船名第二富丸)「トロール」漁業ハ大正三年十月二日付ヲ以テ長崎市大浦町七番地汽船漁業株式會社ニ 名義ヲ書換ヘ唐津港、博多港、伊萬里港ヲ漁獲物陸揚港	造船造兵監督官並艦裝員ノ旅費ニ關シ別紙ノ通決裁ア リ 右通牒ス ○大正三年十月十八日官房第三一一六號決裁 造船造兵監督官又ハ同監督助手監督検査ノ爲大阪若ハ 神戸ニ出張申ノ者同地間ヲ往復スル場合ニハ鐵道費ハ 定價ヲ支給シ日當ハ支給セサルコトニ致シ可然也 右仰高裁

○大正三年十月十八日官房第三二一五號決裁

旅費日額支給ノ件

榛名霧島監督官監督助手並艦裝員、艦裝員附入渠ノ爲
回航中ノ同艦乗組中ハ別表ニ依リ旅費日額ヲ支給シ
陸地宿泊中ハ夜數ニ應シ第二表ニ依リ宿泊料ノミヲ支
給スルコトニ致シ可然哉

右仰高裁

(別紙)

旅費日額表

區	分	上長官 高等文官 以下	士六等 同六等 以下	兵曹長 相當官 同	准士官 列佐文官	下士	卒
日	額	二円	一円	一円	一円	一円	一円
		八〇〇	五〇〇	三〇〇	二〇〇	七〇〇	五〇〇

○辭令

海軍上等機關兵曹 入佐 影滿
後備役ヲ命ス(五十号) 海軍省)

○雜款

○赴任
英國駐在海軍少佐末次信正ハ來ル二十一日午後三時五
十分新橋發同二十六日門司ニ於テ熱田丸ニ乗船赴任ノ
豫定

海軍公報第六百五十九號 大正三年十月十九日

七八三

○宿所變更
荒城海軍少佐ノ宿所左ノ通り變更
28 Cairnhill Road,
Singapore.

海軍公報 第六百五十九號

大正三年十月十九日(月)

海軍大臣官房

1136

○艦船所在

▲印ハハホノ
指定ヲ要セス

○十月十九日午前十時調

【横須賀】 ▷相模▲、武藏、橋立、朝日、津輕▲、壹岐▲、

叢雲、巳夕霧、巳白鷹、雉、山彦、遠江丸、神奈川丸、

区水七一、水六八、鴻、鷗

二見港

滿州

三河

水

清濱

栗橋丸

横濱

駒橋、潛八、潛九

吳館

千早

大函

千早

瀬

區臘、啗、区水六六、水二九

菊月

区潜一三、区春風、時雨、初春、初雪、長月、卯月、

潛一、潛二、潛六、潛七、区潜四、潛三、潛五、

硯海丸、歷山丸、韓崎、潛一〇、潛一二、潛一二

〔神、戸〕 龍田、榛名

〔門、司〕 嚴島

【佐伯】 ▷夕風、追風
【舞山】 疾風
【佐賀】 鹿島▲、吾妻▲、千鳥▲、区水七五▲、
水七三▲、水七二▲、水七四▲、鶴▲
【佐世保】 ▷敷島▲、笠置、八雲、掌磐、新高、音羽、
区彌生、有明、吹雪、波、区如月、初霜、神風、響、
区白露▲、夕立、三日月、夕暮▲、猿橋丸、武州丸、
雲雀▲、鶲

【寺島水道】 ▷攝津、河内、安藝、金剛、比叡、▷磐手、
区桶、櫻
【長崎】 霧島、区鶴
【馬公】 須磨、對馬
【釜山】 不知火、薄雲
【海上】 阴田、伏見、鳥羽
【第六地點方面】 沖島、宇治、嵯峨、区潮、子日、朝風、
若葉、▷利根、区野分、白雪、松風、区浦波、胡霧、
磯波、綾波、区潮、白雲、陽炎、村雨、文月丸、
皐月丸、卷雲丸、琉球丸、漣丸、霞丸、敷波丸、

【横須賀】 ▷相模▲、武藏、橋立、朝日、津輕▲、壹岐▲、
叢雲、巳夕霧、巳白鷹、雉、山彦、遠江丸、神奈川丸、
区水七一、水六八、鴻、鷗

二見港

滿州

三河

水

清濱

栗橋丸

横濱

駒橋、潛八、潛九

吳館

千早

大函

千早

瀬

區臘、啗、区水六六、水二九

菊月

区潜一三、区春風、時雨、初春、初雪、長月、卯月、

潛一、潛二、潛六、潛七、区潜四、潛三、潛五、

硯海丸、歷山丸、韓崎、潛一〇、潛一二、潛一二

〔神、戸〕 龍田、榛名

〔門、司〕 嚴島

第二長門丸、第五長門丸、第八長門丸、第三西宗丸、呂水三三、水六〇、水六一

【第七地點】口周防、丹後、明石、高千穂、最上、石見、朝鮮丸、熊野丸、白銀丸、淀橋丸、劍山丸、福州丸

【E地點】▷千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、呂雁、鶴、蒼鷺、燕

〔航海中〕

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

▷鞍馬、筑波、淺間、(九月十四日横須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

▷薩摩、平戶、率壽丸(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

天拜山丸(十二日佐世保發)

▷春日(十三日馬公發)

高崎丸(十六日橫須賀發長崎へ)
千代田(十六日吳發基隆へ)

三池丸(十六日佐世保發第七地點へ)

武洋丸(十七日土崎發佐世保へ)

旭丸(十八日馬公發大板幌へ)

八幡丸(十八日第七地點發佐世保へ)

豊橋丸(十八日舞鶴發大湊へ)

梅丸(十八日佐世保發第七地點へ)

鹿兒島丸(十八日古仁屋發那霸へ)

若宮丸、三河丸(十八日E地點發佐世保へ)

辨天丸(十九日旅順發第七地點へ)

○ 雜款

○郵便送付先
軍艦千代田宛郵便物ハ馬公要港部氣付ニテ發送相成度旨通知アリ

第十四驅逐隊司令部、夕風、追風及疾風宛郵便物ハ二十
一日以降到着見込ノモノハ吳ニ向ケ發送相成度旨通知
アリ

(秘外部)

海軍公報

第六百六十號

大正三年十月二十日(火)

○
令達

官房第三二二八號
鹿兒島丸ニ設置ノ第一艦船郵便所ヲ神奈川丸ニ移シ十
月十九日ヨリ其ノ事務ヲ開始ス

○辭令

（各通）

敷設水雷改良調査委員ヲ命ス <small>(督<small>ナ</small>海軍省)</small>	海軍大尉	立川	七郎
	海軍大尉	松井	利三郎
	海軍大尉	寺島	啓三
	海軍大尉	柏木	質

○艦船所在
▲印ハボノ
指定ヲ要セス

○十月二十日午前十時調
【横須賀】→相模▲、武藏、橋立、朝日、津輕▲、壹岐▲

海軍公報第六百六十號 大正三年十月二十日

霞雲	夕霧	白鷺雉	山彦	遠江丸	神奈川丸
水七一	水六八	鴻鵠			
區	溝	河			
水	濱				
區	滌	栗橋丸			
臘	驥橋	潛八	潛九		
千早	水六七	水七〇			
大和	富士	扶桑	淀	春風	時雨
初春	初雪	長月	卯月	菊月	水無月
椅子	山丸	水五九	水五八	潛一	潛六
潛七	巨潛四	潛三	潛五	硯海丸	歷山丸
戸	司	嚴田	櫟名		
伯	夕風	追風	疾風		
賀	鶴	三笠	鹿島	吾妻	千鳥
世保	鶴	水七三▲	水七二▲	水七四▲	鵠▲
佐	舞	水七三▲	水七二▲	水七四▲	鵠▲
敦	佐	水七三▲	水七二▲	水七四▲	鵠▲
佐	舞	水七三▲	水七二▲	水七四▲	鵠▲

八幡丸、雲雀、鶴
【等島水道】口攝津、河内、安藝、金剛、比叡、巨橘、櫻
長崎
馬公
【笠山】須磨、口不知火、薄雲、旭丸

上海

鷗田、伏見、鳥羽

第六地點方面 沖島、宇治、嵯峨、口潮、子日、朝風、

若葉、利根、口野分、白雪、松風、口浦波、朝霧、

磯波、綾波、口朝潮、白雲、陽炎、村雨、文月丸、

皐月丸、卷雲丸、琉球丸、漣丸、霞丸、敷波丸、

第二長門丸、第五長門丸、第八長門丸、第三西宗

丸、口水三三、水六〇、水六一

【第七地點】口周防、丹後、明石、最上、石見、朝鮮丸、

熊野丸、自銀丸、淀橋丸、劍山丸、福州丸

E 地點 口千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、口雁、

鷗、蒼鷹、燕

航海中

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

銳摩(八月二十六日佐世保發)

香取(九月十九日橫須賀發)
日進(九月二十三日馬公發)

▷薩摩、平戸、幸壽丸(一日佐世保發)
矢矧(一日佐世保發)

錨倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日横須賀發)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

天拜山丸(十二日佐世保發)

武洋丸(十七日土崎發佐世保)

豊橋丸(十八日舞鶴發大湊)

梅丸(十八日佐世保發第七地點)

三池丸(十六日佐世保發第七地點)

武洋丸(十七日土崎發佐世保)

豊橋丸(十八日舞鶴發大湊)

若宮丸、三河丸(十八日五地點發佐世保)

辨天丸(十九日旅順發第七地點)

新高(十九日佐世保發馬公)

滿州(十九日二見港發橫須賀)

▷生駒、韓崎、潛一〇、(二十日吳發廣島灣)

潛一一、潛一二、口潛二三(二十日吳發廣島灣)

阿蘇、宗谷(二十日吳發大三島)

對馬(二十日馬公發)

大正三年十月二十一日(水)

海軍公報 第六百六十一號(第六百六)

海軍大臣官房

○令達

官房第三二三七號

今回ノ戰役ニ關シ傷病ノ外國軍人軍屬ヲ海軍病院若ハ
治療所ノ設備アル艦團各部ニ收療シタルトキハ之ニ要
スル治療費及食費ヲ官費支拂トス
大正三年十月二十一日 海軍大臣 八代 六郎

○辭令

海軍中佐 山内 四郎
航空術研究委員ヲ命ス(廿二海軍省)

○雜款

○轉居
米國駐在海軍機關大尉古市龍雄ハ九月十六日左記ニ轉
居セル旨届出アリ

Mr. M. V. Mc Envoy
1082 Commonwealth Ave.,
Boston, Mass.

海軍公報第六百六十一號 大正三年十月二十一日

七八五

1140

(秘外部)

海軍公報

第六百六十一號

大正三年十月二十一日(水)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハハホス

佐
伯
夕風、追風、疾風
三笠、鹿島、吾妻

○十月二十一日午前十時調

【佐舞】伯曰夕風、追風、疾風。
鶴曰三笠、鹿島、吾妻、巨千鳥、巨水七五、
水七三、水七二、水七四、鵠▲

須磨、長崎、櫻、薄雲、旭丸

〔上 海〕 阴田、伏見、鳥羽
〔第六地點方面〕 沖島、宇治、嵯峨、区潮、子日、朝風、

△生駒
韓崎、潛一〇、潛一一、潛一二、区潛一三三
龍田、榛名
嚴島
阿蘇、宗谷

第七地點 口周防、丹後、明石、最上、石見、朝鮮丸、
熊野丸、白銀丸、淀橋丸、劍山丸、福州丸、三池丸

辨天丸

■ 地點 □ 千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、□雁、
鶴、蒼鷺、燕

【航海中】

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

▶鞍馬、筑波、淺間、

△山風、海風、南海丸(九月十四日橫須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

△薩摩、平戶、幸壽丸(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

肥前、島根丸(八日橫須賀發)

天拜山丸(十二日佐世保發)

△春日(十三日馬公發)

千代田(十六日吳發基隆へ)

梅丸(十八日佐世保發第七地點へ)

若宮丸(十八日乙地點發佐世保へ)

新高(十九日佐世保發馬公へ)

滿州(十九日二見港發橫須賀へ)
對馬(二十日馬公發)

神奈川丸(二十日橫須賀發)

第二長門丸、第五長門丸(二十日第六地點方面發)

第八長門丸、第三西宗丸(佐世保へ)

鹿兒島丸(二十日宮古島發)

笠置(二十日佐世保發鎮海へ)

△白露、三日月(二十日佐世保發第七地點へ)

長月、卯月、菊月、△水無月(二十一日吳發佐伯へ)

高崎丸(二十一日長崎發橫須賀へ)

常磐(二十一日佐世保發富江へ)

駒橋(潛入、潛丸(二十一日清水發重須へ)

○ 雜款

○郵便物送付先
第十一艇隊司令部及第七十二、七十三、七十四、七十五號水雷艇宛郵便物ハ佐世保郵便局氣付ニテ發送相成
度旨通知アリ

○司令艇變更
第二艇隊司令艇ヲ本月十六日白鷗ヨリ鴻ニ變更セル旨
報告アリタリ

海軍公報

第六百六十二號

海軍大臣官房

大正三年十月二十二日(木)

○辭令

海軍少佐子爵 田村 丕顯
海軍武功調査委員ヲ命ス(廿九日海軍省)

○雜款

○葬儀

海軍軍醫大監正五位勳三等梶浦捨松ハ本月二十日吳ニ
於テ卒去遺骨ハ海軍大軍醫福島久之護送二十三日午後
一時五十分新橋着葬儀ハ途中葬列ヲ廢シ來ル二十六日
午後二時青山斎場ニ於テ佛式ニテ執行

〔航海中〕

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

鞍馬、筑波、淺間(九月十四日橫須賀發)

山風、海風、南海丸(九月十四日橫須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

薩摩、平戶、幸壽丸(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

天拜山丸(十二日佐世保發)

春日(十三日馬公發)

千代田(十六日吳發基隆へ)

梅丸(十八日佐世保發第七地點へ)

新高(十九日佐世保發馬公へ)

對馬(二十日馬公發)

神奈川丸(二十日橫須賀發)

第二長門丸、第五長門丸(二十日第六地點方面發)

第八長門丸、第三西宗丸(佐世保へ)

鹿兒島丸(二十日宮古島發)

白鷗(三日月(三十日佐世保發第七地點へ)

夕暮、夕立(三十日佐世保發第七地點へ)

○ 雜 款

○通信
喜屋武特設望樓無線電信修理竣工通信差支ナシ

高崎丸(二十一日長崎發橫須賀へ)
水七五、水七三(二十一日舞鶴發第七地點へ)
豊橋丸(二十一日大湊發橫須賀へ)
琉球丸(二十一日第六地點方面發佐世保へ)
劍山丸(二十一日第七地點發佐世保へ)
三河丸(二十一日佐世保發第七地點へ)
旭丸(二十一日馬公發佐世保へ)
阿蘇、宗谷(二十二日大三島發赤穂灣へ)
春風、時雨(二十二日吳發伊豫灘へ)
初春、初雪(二十二日別府發宇和島へ)
長月、菊月(二十二日潛一〇、潛一二(二十二日玖波發吳へ)
韓崎、潛一〇、潛一二(二十二日玖波發吳へ)
潛一二、潛一三(二十二日玖波發吳へ)

海軍公報

第六百六十三號

大正三年十月二十四日(土) 海軍大臣官房

海軍公報

第六百六十三號

大正三年十月二十四日(土) 海軍大臣官房

○令達

官房第三一七〇號

本年ニ限リ海軍大學校規則第十五條ノ最終試験ヲ行ハ

ス
海軍大學校學生銓衡委員長ハ同規則第十四條ノ書類ニ
依リ審査ノ上決定候補名簿ヲ調製進達スヘシ但シ銓衡
委員長ハ要スレハ軍醫官ノ調製シタル甲種學生候補者
ノ身體検査成績ヲ所轄長ヨリ徵スヘシ

大正三年十月二十四日

海軍大臣 八代 六郎

○雜款

依頼海軍監獄看守ヲ免ス(以上廿四海軍省)
小野寺武三郎

○遺骨到着期
海軍大佐伊東祐保遺骨明二十五日午後二時二十五分佐
世保發、同十一時四十分下ノ關發、二十六日午後六時三
十分神戸發、二十七日午前九時新橋着ノ豫定

○辭令

○大正三年十月二十二日
任海軍書記

根本 龍吉

給十一級俸

海軍大學校附ラ命ス 海軍書記 根本 龍吉
海軍艦政本部附海軍技手 早田 四郎記
兼造船監督助手ヲ命ス

海軍公報第六百六十三號 大正三年十月二十四日

七八九

(秘密外部) (3)

海軍公報

第六百六十三號

大正三年十月二十四日(土)

海軍大臣官房

官房第三二六九號
本年官房第二五八五號中「及射的場番人」ヲ削ル

大正三年十月二十四日

海軍大臣 八代六郎

(參照) 本年官房第二五八五號ハ海軍職時給與規則第二十條ノ增俸支給

○艦船所在
指定期間ヲハ
要セホスノ

○十月二十四日午前十時調

【橫須賀】△相模△武藏△蒲州△橋立△朝日△津輕△
喜坡△櫻雲△平夕霧△巨鷗△雜△山彦△遠江丸△

水六十七水七

千早
生駒、大和、富士、秩父、三多颶、追風

大正三年十一月二十四日

長崎	馬島、日鷗
須磨、新高、日不知火、薄雲	笠置
笠置	山
山	海
海	金
金	上
上	第六地點方面
第六地點方面	冲島、宇治、嵯峨、日潮、子日、朝風、 隅田、伏見、鳥羽

疾風	椅子山丸	日春風	時雨	初春	初雪	潛一
潛二	潛六	潛七	日潛四	潛三	潛五	硯海九
歷山丸	韓崎	潛一〇	潛一二	日潛一三	戶	龍田
佐	大	佐	門	神	司	嚴島
舞	阪	伯	巳	水無月	卯月	阿蘇
鶴	▲三笠	鹿島	▲吾妻	日千鳥	鵠	宗谷
賀	真鶴	集				
佐	世	保	口攝津	敷島	磐手	金剛
教		八雲	常磐	安藝	比叡	河内
舞		霞	日如月	初霜	神風	響
鶴		夕立	日橋	狼橋	日白露	三日月
賀		櫻	櫻九	狼橋九	夕暮	若宮丸
佐		日	夜島九	若宮丸	九	旭九

1147

第二長門丸、第五長門丸(二十日第六地點方面發)
第八長門丸、第三西宗丸(佐世保へ)

琉球丸(二十二日第六地點方面發佐世保へ)
福州丸、朝鮮丸(二十二日勞山灣發)

豊橋丸(二十一日大湊發橫須賀へ)
武州丸、八幡丸(二十二日佐世保發勞山灣へ)

若葉、仁利根、日浦波、朝霧、曉波、日潮、
白雲、陽炎、村雨、文月丸、阜月丸、卷雲丸、漣丸、
鱗丸、敷波丸、日水三三、水六〇、水六一

【第七地點】口周防、丹後、明石、最上、石見、熊野丸、

自銀丸、梅丸、三河丸、淀橋丸、三池丸、辨天丸、

【E地點】口千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、日暉、

鯨、蒼鷹、燕

【航海中】
出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

日鞍馬、筑波、邊間、
日山風、海風、南海丸(九月十四日橫須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

日蘇摩、平戶、幸琴丸(二日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

天拜山丸(十二日佐世保發)

十番目(十三日馬公發)

對馬(二十日馬公發)

神奈川丸(二十日橫須賀發)

○ 雜 款

第一戰隊、第一水雷戰隊行動豫定

十月二十六日午後、佐世保發

同 二十八日午後、志布志着

同 二十九日夜間 志布志發

同 三十日午後 神戶發

十一月 三日午後 神戶發

同 五日午前 橫須賀着

○郵便物送付先

第一艇隊宛郵便物ハ左記ニ依リ發送相成度旨通知アリ

第一艇隊司令部及第六十八號、第七十一號宛ノモノ

ハ 横濱市神奈川縣港務部氣付

第六十七號及第七十號宛ノモノハ 神奈川縣田浦局

區内横須賀防備隊氣付

海軍公報

第六百六十四號

大正三年十月二十六日(月)

海軍大臣官房

海軍公報

第六百六十四號

大正三年十月二十六日(月)

海軍大臣官房

經給第七九號

大正三年十月二十六日

海軍省經理局長志佐勝

○通牒

戰地解釋之件

今回ノ戰役ニ關シ膠州灣方面、龍港方面及南洋占領地方面ヲ給與上戰地ト解釋スル件及通牒置候處尙特別ノ命令ニ依リ對敵行動ヲ取ル爲出動スル艦艇ニ在リテハ該出動先ヲモ戰地ト解釋スルコトニ一定候條及通牒候也

追而本件ハ宣戰ノ初ヨリ適用シ又本文艦艇ノ出動先ニ派遣セラレタル運送船等ニ對シテモ同様適用スル儀ニ有之候

○艦船所在

指定期要セス

○十月二十六日前十時調

【横須賀】相模、武藏、満州、橋立、朝日、津輕、

海軍公報第六百六十四號

大正三年十月二十六日

一一九



夕立・櫛・櫻・猿橋丸、友島丸、若宮丸、幸壽丸、
旭丸、鹿兒島丸、朝鮮丸、琉球丸、第二長門丸、

第五長門丸、第八長門丸、第三西宗丸、劍山丸、
鷦鷯丸、長崎丸、

霧島、雲雀

馬公、須磨、新高、千代田、不知火、薄雲
釜山、鶴見、白銀丸、

旅順、順海、隅田、伏見、鳥羽

第六地點方面、沖島、宇治、嵯峨、長潮、子日、朝風、
若葉、利根、浦波、朝霧、磯波、綾波、長朝潮、

白雲、陽炎、村雨、文月丸、皐月丸、卷雲丸、漣丸、

霞丸、敷波丸、長水三三、水六〇、水六一、

第七地點、口周防、丹後、明石、最上、石見、熊野丸、
梅丸、三河丸、八幡丸、淀橋丸、武州丸、辨天丸、

E 地點、千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、長雁、
鶴見、蒼鷺、燕

【航海中】

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

鞍馬、筑波、淺間(九月十四日橫須賀發)

長風、海風、南海丸(九月十四日橫須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)
日進(九月二十三日馬公發)

薩摩、平戶(一日佐世保發)
矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)
肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

天拜山丸(十二日佐世保發)

春日(十三日馬公發)

對馬(二十日馬公發)

神奈川丸(二十日橫須賀發)

福州丸(二十二日勞山灣發)

武洋丸(二十三日佐世保發)

長水七五、水七三(二十三日竹敷發)
水七二、水七四(二十三日竹敷發)

長水五九、水五八(二十四日高濱發吳へ)

三池丸(二十五日第七地點發佐世保へ)

○ 雜 款

○書類發送先
來ル十一月十二日以降同月十九日迄ニ到着スヘキ特別
大演習ニ關スル文書及其他ノ至急文書ハ大阪市特別大
演習統監部管理部宛發送相成度旨參謀本部庶務課長ヨ
リ通牒アリタリ

○運送船高崎丸第十六回航路豫定表

寄港地	入港日時	出港日時
横須賀		
神戸	十月二十八日午前八時三十分	
吳	十一月三日午前	十一月一日午前七時
長崎	六日午前	四日午前七時
佐世保	七日午後	九日午後四時
吳	同十一日午前	十三日午前七時
神戸	同十四日午前	十六日午前七時
横須賀	同十八日午前	

○郵便物送附先

運送船高崎丸本月二十八日横須賀出港ニ付同船宛郵便
物送付先左ノ通通知アリタリ

十月三十一日迄ニ到着見込ノモノ

神戸

吳

長崎

佐世保

吳

神戸

横須賀

其後ハ

同五日全

同八日全

同十一日全

同十四日全

○旗艦變更
柄内第一艦隊司令官旗艦ヲ本月二十四日磐手ヨリ常磐
ニ變更セル旨報告アリ

海軍公報

第六百六十五號(第
四號缺)

海軍大臣官房

大正三年十月二十七日(火)

○辭令

後備役ヲ命ス(封記海軍省)
海軍上等兵曹 平井 左文二

○雜款

○滯在地變更
海軍大尉宇都宮 小市ハ 東京ニ 滯在地變更ノ儀
十月二十六日認許セラレタリ

(秘外部)

海軍公報

第六百六十五號

大正三年十月二十七日(火)

海軍大臣官房

記日額ヲ支給スルコトニ致シ可然哉
右仰高裁

旅費日額表
膠 州 灣 南 洋 占 領 地
備 考
待遇者ニハ待遇相 當ノ日額ヲ支給ス
三〇〇
四〇〇
高 等 官

官房第三二九八號
第十一、第十二艇隊掃海隊ニ編入中ハ軍艦松江主計長
之カ會計給與ヲ掌理スヘシ
大正三年十月二十七日

大正三年十月二十七日

海軍大臣 八代 六郎

○通牒

經給第八三號
戰時旅費ニ關シ左ノ通決裁アリ
右通牒ス

戰時旅費ニ關シ左ノ通決裁アリ
右通牒ス

海軍省經理局長 志佐勝

○艦船所在

▲
指定印ハ
要セス

▲印ハハセノ

○大正三年十月二十六日官房第三、九四號決裁
戰時旅費ニ關スル件

海軍公報第六百六十五號 大正三年十月二十七日

〔太
陽〕
〔幽
館〕
〔吳
國〕

〔大
漢〕
〔千早、巨
艶、巨
生駒、大和、富士、扶桑、淀、巨
夕風、追風、疾風、巨
野分、白雪、松風、椅子山丸、巨
春風、時雨、初春、初雪、潛一、潛二、潛六、潛七、巨
潛四、潛三、潛五、硯海丸、歷山丸、韓崎、潛一〇、

〔第七地點〕
〔露丸、敷波丸、巨水三三、水六〇、水六一、梅丸、三河丸、八幡丸、武州丸、辨天丸、巨水七五、水七三、水七二、水七四〕

〔神
門〕
〔司
門〕
〔佐
伯〕
〔白
杵〕
〔舞
鶴〕
〔教
世
保〕
〔賀
三笠、鹿島、巨
吾妻、巨
千鳥、鵠、
真鶴、隼、
佐
世
保〕
〔敷
島、磐手、笠置、八雲、巨常磐、巨
白露、
三日月、夕暮、夕立、猿橋丸、友島丸、若宮丸、
幸壽丸、旭丸、鹿兒島丸、朝鮮丸、琉球丸、
第二長門丸、第五長門丸、第八長門丸、劍山丸、
第三西宗丸、卯、巨鷦、
長
崎、
馬
公〕
〔上
旅
順〕
〔第六
地
點
方
面〕
〔若
葉〕
〔利
根〕
〔浦
波〕
〔朝
潮〕

〔潛一、潛二、巨
潛一三、巨水五九、水五八〕

〔航
海
中〕

〔出雲（八月二十二日桑港發）
伊吹（八月二十四日吳發）
筑摩（八月二十六日佐世保發）
〕鞍馬、筑波、淺間（九月十四日橫須賀發）
〔山風、海風、南海丸（九月二十日橫須賀發）
香取（九月十九日橫須賀發）
日進（九月二十三日馬公發）
〕薩摩、平戶（一日佐世保發）
矢矧（二日佐世保發）
鎌倉丸（六日佐世保發）
彼南丸（七日橫須賀發）
肥前、鳥取丸（八日橫須賀發）
天拜山丸（十二日佐世保發）
對馬（二十日馬公發）
神奈川丸（二十日橫須賀發）
福州丸（二十二日勞山灣發）

武洋丸(二十三日佐世保發)

三池丸(二十五日第七地點發佐世保(一))

口攝津、河内、安藝、比叡、金剛、口音羽、口綱生、有明、

吹雪、轟、口如月、神風、初霜、響、口橘、櫻(二十六日)

佐世保發有明灣(一))

淀橋丸(二十六日第七地點發佐世保(一))

駒橋、潛八、潛九(二十七日橫須賀發橫濱(一))

阿蘇、宗谷(二十七日大阪發高松(一))

海軍公報號外

大正三年十月二十七日(火)

海軍大臣官房

海軍大佐伊東祐保、海軍中佐古賀賢吉、海軍機關中佐安達榮藏、海軍少佐堺江平彌、同
谷井徳之助、同間宮愛、同矢田満丸、海軍機關少佐青木老次、海軍大尉松田昌正、同中島
外喜男、同原田留吉、同窪徳治郎、海軍機關大尉大川忠吉、同有門清、海軍大主計安田義
隆、海軍中尉小山竹治郎、海軍機關中尉小岩義男、同渡邊兵太郎、海軍中軍醫小俣幹翁儀
過般膠州灣外ニ於テ戦死仕候ニ付來ル十一月二日正午築地水交社出棺青山斎場ニ於テ神葬
相營ミ候

追テ生花、造花等ハ部内、及後會員等ヨリ贈ラル、モノヲ除クノ外各個人ニ宛テ贈ラル

ルコトハ御断リ仕候

大正三年十月二十七日

海軍葬儀幹事

軍艦高千穂ニ於テ戦死ノ將校同相當官ニシテ東京ニ於テ執行スル合併海軍葬儀ノ事務所左
ノ通(海軍葬儀幹事)

十月二十九日迄
同 三十日以降
海軍省構内
築地水交社

海軍公報

第六百六十六號

大正三年十月二十八日(水)

海軍大臣官房

○艦船所在

▲印ハハホ^ノ
指定ヲ要セス

○十月二十八日午前十時調

【横須賀】[△]相模▲、武藏▲、滿州、橋立、朝日、津輕▲、

【高崎丸】[△]鴻、雉、山彦、遠江丸、白鷹、鷗、栗橋丸、

【高崎丸】[△]水六七、水七〇

【横濱】[△]駒橋、潛八、潛九、[□]水七一、水六八

【館山】[△]夕霧、叢雲

【大湊】[△]千早、[□]水六六、水二九▲

【吳】[△]生駒、大和、富士、扶桑、淀、[□]夕風、追風、

【疾風】[△]野分、白雪、松風、椅子山丸、[□]春風、時雨

【初春】[△]初春、初雪、潛一、潛二、潛六、潛七、[□]潛四、

【潜三】[△]潛五、硯海丸、歷山丸、[□]水五九、水五八

【神戸】[△]龍田、棟名

【江田内】[△]韓崎、潛一〇、潛一一、潛一二、[□]潛一三

【門司】[△]佐伯

【佐和島】[△]長月、菊月

【宇和島】[△]水無月、卯月

【高松】[△]阿蘇、宗谷

【舞鶴】[△]三笠、鹿島▲、吾妻▲、[□]千鳥▲、鶴▲
【敦賀】[△]真鶴、隼

【佐世保】[△]敷島▲、磐手、笠置、[□]白露、三日月、夕暮、

【夕立】[△]猿橋丸、友島丸▲、若宮丸▲、幸壽丸、旭丸、

【鹿兒島丸】[△]朝鮮丸、琉球丸、福州丸、三池丸、

【第二長門丸】[△]第五長門丸、[□]第八長門丸

【第三西宗丸】[△]鴉、[□]鶴

【馬公】[△]春日、千代田、[□]不知火、薄雲

【釜山】[△]鷲

【旅順】[△]白銀丸

【上嶺】[△]隅田、伏見、鳥羽

【第六地點方面】[△]沖島、宇治、嵯峨、[□]潮、子日、朝風、

【若葉】[△]利根、[□]浦波、朝霧、礫波、綾波、[□]朝潮、

【霞丸】[△]春月丸、卷雲丸、健丸、

【白雲】[△]陽炎、村雨、文月丸、阜月丸、卷雲丸、健丸、

【梅丸】[△]三河丸、八幡丸、武州丸、辨天丸、[□]水七五、

【水七三】[△]水七二、水七四

【第七地點】[△]周防、丹後、明石、最上、石見、熊野丸、

【E地點】[△]千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、[□]雁、

鰐、蒼鷹、燕

【航海中】

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

△鞍馬、筑波、淺間、
巴山風、海風、南海丸(九月十四日橫須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

△薩摩、平戶(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

天拜山丸(十二日佐世保發)

對馬(二十日馬公發)

神奈川丸(二十日橫須賀發)

武洋丸(二十三日佐世保發)

口攝津、河内、安藝、比叡、金剛、
△音羽、巴彌生、有明、

吹雪、霞、巴如月、神風、初霜、響、
巴橋、櫻(二十六日)

佐世保發(有明灣)

△淀橋丸(二十七日第七地點發佐世保へ)

△鷹丸(二十七日橫須賀發吳へ)

常磐(八雲(二十七日佐世保發))

劍山丸(二十七日佐世保發第七地點へ)
須磨(二十七日馬公發基隆へ)

新高(二十七日馬公發)

海軍公報

第六百六十七號

大正三年十月二十九日(木)
海軍大臣官房

○令達

官房第三二一四號
福州丸ニ設置ノ第二艦船郵便所ヲ鎌倉丸ニ移ス但シ事務開始ノ時期ハ追テ令達ス
大正三年十月二十九日

○艦船所在

▲印ハハホフ
指定ヲ要セス

○十月二十九日午前十時調

【横須賀】 ▷相模▲、武藏▲、満州、橋立、朝日、津輕▲、
壹岐▲、長崎、雄、山彦、長崎、夕霧、蓬萊、遠江丸、
南海丸、白鷗、鷗、栗橋丸、水六七、水七〇

【横濱】 駒橋、潜八、潜九、長崎、水七一、水六八

【大湊】 鹿児島、水六六▲、水二九△

【函館】 千早、長崎

官房第三二一五號
第三戰隊司令部及軍艦常磐、八雲ト佐世保郵便局トノ
間ニ閉義郵便交換ノコトニ相成候ニ付テハ本邦ヨリ發
送スル郵便物ハ左記ノ通取計フコトト御承知相成度
大正三年十月二十九日

○通牒

海軍省副官 谷口 尚真
信書肩書 佐世保郵便局氣付
宛名左側ニ「軍艦郵便」ト朱書スルコト
料金ハ内地ノ料金ニ依リ本邦ノ切手ヲ貼用スルコト

海軍公報第六百六十七號 大正三年十月二十九日

二三九

1160

【佐世保】▷敷島、磐手、笠置、口白露、三日月、夕暮、

夕立、猿橋丸、友島丸、若宮丸、幸賀丸、旭丸、

榆丸、鹿兒島丸、琉球丸、福州丸、三池丸、

第二長門丸、第五長門丸、第八長門丸、

第三西宗丸、鴉、口鶴

【有明灣】▷口攝津、河内、安藝、比叡、金剛、口音羽、

口彌生、有明、吹雪、霰、口如月、神風、初霜、響、

口橘、櫻

【長崎】▷霧島、雲雀

【馬公】▷春日、千代田、口不知火、薄雲

【釜山】▷鶯

【旅順】▷白銀丸

【上】

【海】▷隅田、伏見、鳥羽

【第六地點方面】▷沖島、宇治、嵯峨、口潮、子日、朝風、

若葉、口利根、口浦波、朝霧、磯波、綾波、口朝潮、

白雲、陽炎、村雨、文月丸、皐月丸、卷雲丸、漣丸、

霞丸、敷波丸、口水三三、水六〇、水六一

【第七地點】▷周防、丹後、明石、最上、石見、熊野丸、

八幡丸、武州丸、辨天丸、口水七五、水七三、

水七二、水七四

【E 地點】▷千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、口雁、

鴎、蒼鷹、燕

【航海中】

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

口鞍馬、筑波、淺間(九月十四日橫須賀發)

口山風、海風(九月二十三日馬公發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

薩摩、平戶(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

天保山丸(十二日佐世保發)

對馬(二十日馬公發)

神奈川丸(二十日橫須賀發)

武洋丸(二十三日佐世保發)

淀橋丸(二十六日第七地點發佐世保)

豊橋丸(二十七日橫須賀發吳)

常磐丸(二十七日佐世保發)

劍山丸(二十七日佐世保發第七地點)

須磨(二十七日馬公發基隆)

新高(二十七日馬公發)

高崎丸(二十八日橫須賀發神戶)

阿蘇、宗谷(二十八日高松發三津ヶ濱)

口水無月、卯月(宿毛發佐伯)

○ 雜款

○旗艦變更
吳鎮守府艦隊司令官旗艦ヲ十月二十六日生駒ヨリ淀ニ
變更セル旨報告アリタリ

海軍公報

第六百六十八號(第六百六十六號缺) 海軍大臣官房

大正三年十月三十日(金)

○通牒

海人第一九八號

大正三年十月三十日

海軍省人事局長心得 向井彌一

各廳長殿

從軍年加算ニ關スル件

今回ノ戰役ニ關スル從軍年加算ニ就テハ目下御詮議中

ニ付敘勳資格ノ調査ニハ軍人恩給法第二十一條第一號

ニヨルモノ、外ハ何分ノ令アルマテ加算ヲ見合セラレ度右通知ス

○辭令

海軍技手七林 鈴木山太郎繁

(各通)

海軍技手七古明地 匠懿
海軍技手七奥津 安之

○雜款

文官分限令第十一條第一項第四號ニ依リ休職ヲ命ス(附
註海軍省)

○宿所

英國駐在海軍少佐森初次(九月十四日届)
Buys Ballotstraat 91

Haag

Holland

英國駐在海軍醫少佐小島政治(九月十九日届)
Staff Surgeon M. Kojima,
2 Oakland Villa, High Road,

Woodford Bridge, Essex

英國留學中ノ海軍主計中監福島清(九月十九日届)
Mrs Cooper "Faircroft", Vale of Health

英國駐在海軍造兵大技士山家信次(九月十一日届)
20, Pathfield Road, Streatham Common,

London, S. W.

○葬儀時刻
來十一月二日青山斎場ニ於ケル軍艦高千穂ノ戰死將校

同相當官葬儀ノ時刻ハ午後二時ニ有之候(海軍葬儀幹
事)

(秘 外 部)

海軍公報

第六百六十八號

大正三年十月三十日(金)

海軍大臣官房

官房第三二三五號

卷之三

本年内令第二百八十八號ノ病院船備看病夫ノ日給最上
限ハ一圓三十錢トス

海軍大臣 八代 六郎

○艦船所在

▲印ハニ要セス

○十月三十日午前十時調
【黃頭賀】
▲由莫、弋義、吉州、安江、明一、全昌、

積多 上林抄 武麻 津州 桂立 故曰津輕
壹岐 ▲駒橋、潛八、潛九、口鴻、雜、山彦、口夕霧、
叢雲、遠江丸、南海丸、白鷹、颶、栗橋丸、水六七

水七○

大湊 曙、𠂇六六▲、水三九▲

〔 奥 館 〕 千早 上臈 下淀、大和、富士、扶桑、日野分、白雪、

松風、椅子山丸、日春風、時雨、初春、初雪、潛一、

海軍公報第六百六十八號 大正三年十月三十日

白雲、陽炎、村雨、文月丸、皐月丸、卷雲丸、漣丸、

霞丸、敷波丸、口水三三、水六〇、水六一

【第七地點】口周防、丹後、明石、最上、石見、熊野丸、

八幡丸、武州丸、辨天丸、口水七五、水七三、

水七二、水七四

E 地點】千歲、見島、秋津洲、松江、關東丸、口暉、

鶴、蒼鷹燕

【航海中】

出雲(八月二十二日桑港發)

伊吹(八月二十四日吳發)

筑摩(八月二十六日佐世保發)

鞍馬、筑波、淺間、(九月十四日橫須賀發)

山風、海風、(九月十九日橫須賀發)

香取(九月十九日橫須賀發)

日進(九月二十三日馬公發)

薩摩、平戶(一日佐世保發)

矢矧(二日佐世保發)

鎌倉丸(六日佐世保發)

彼南丸(七日橫須賀發)

肥前、鳥取丸(八日橫須賀發)

天拜山丸(十二日佐世保發)

對馬(二十日馬公發)

神奈川丸(二十日橫須賀發)

武洋丸(二十三日佐世保發)

淀橋丸(二十六日第七地點發佐世保へ)
常磐、八雲(二十七日佐世保發)

劍山丸(二十七日佐世保發第七地點へ)

新高(二十七日馬公發)

高崎丸(二十八日橫須賀發神戸へ)

口攝津、河内、安藝、比叡、金剛

音羽、口彌生、有明、吹雪(二十九日有明灣發)

霞、口如月、神風、初霜、響(伊勢灣へ)

口夕風、疾風、追風(二十九日吳發廣島灣へ)

福州丸(二十九日佐世保發勞山灣へ)

鹿兒島丸(二十九日佐世保發)

旭丸(三十日佐世保發馬公へ)

韓崎、潛一〇、潛一一(三十日玖波發吳へ)

一二、口潛一三(三十日玖波發吳へ)

○ 雜款

○第一船隊行動豫定變更(公報六三號參照)

十一月二十九日夜

有明浦出港

同三十一日

伊勢灣鳥羽沖着

十一月五日

伊勢灣發

同六日

橫須賀着